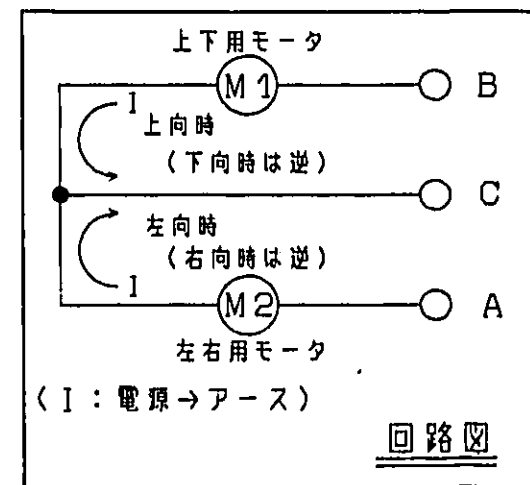
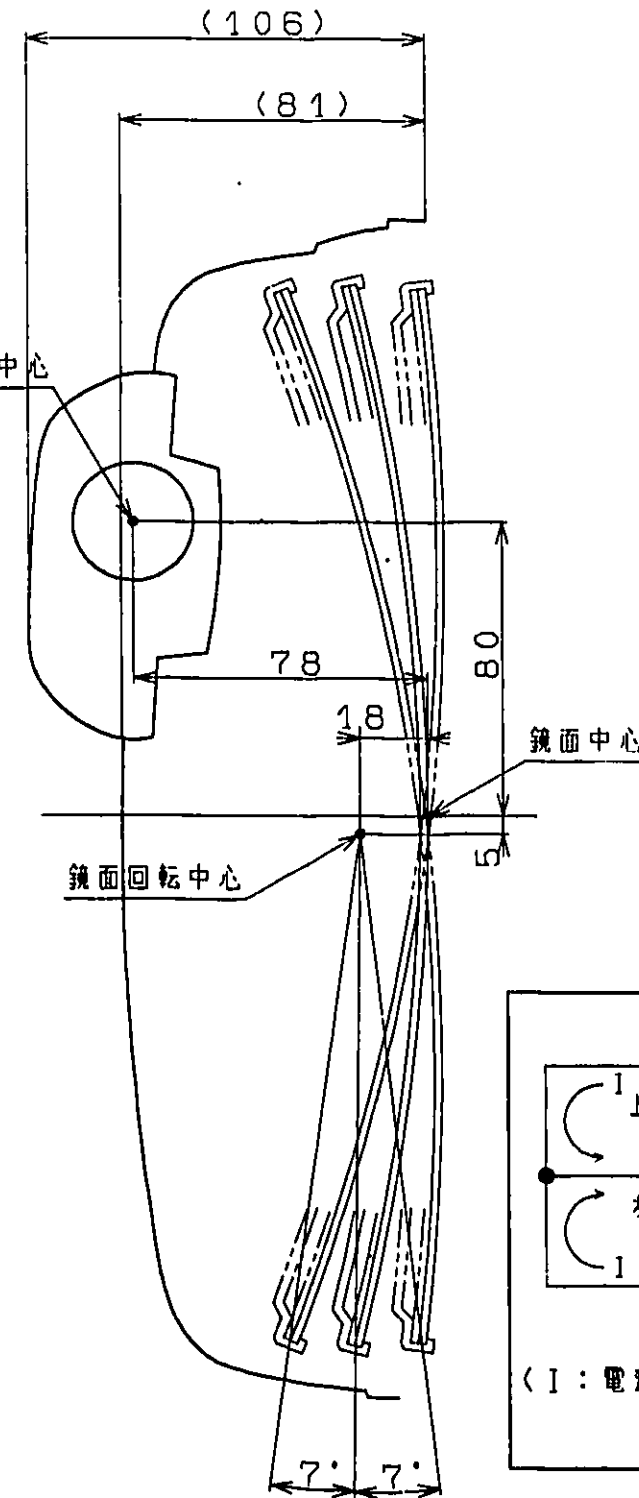
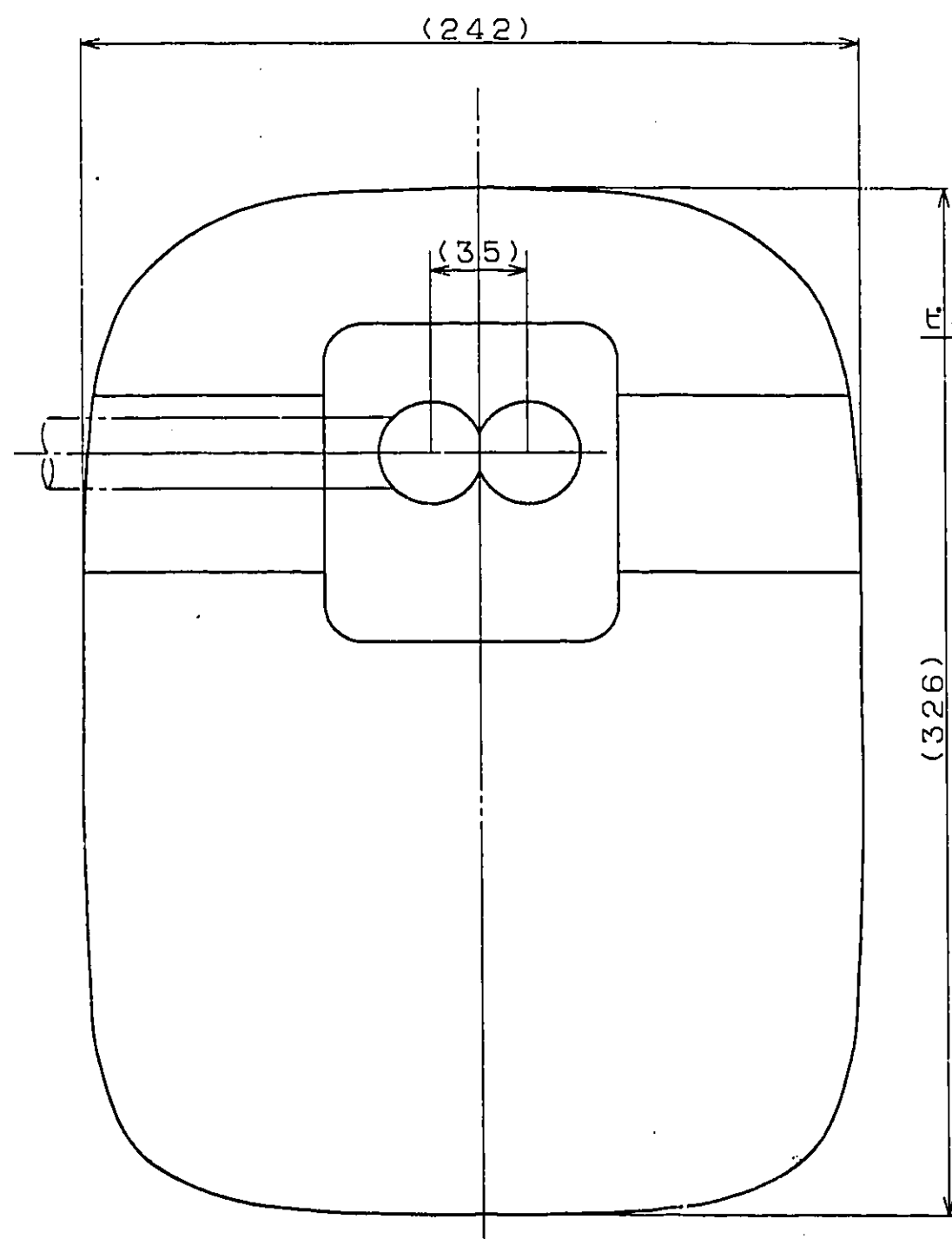


	作動角範囲
ピボット1	14.2°
ピボット2	20.2°



	回路番号	線 径	線 色
A	68-06	AVS0.5	G
B	68-05	AVS0.5	BR
C	68-02	AVS0.5	L
D	69-02	AVS0.5	R
E	69-92	AVS0.5	B



V03MW  
(電動可動ミラー用)



1 V03FW-2P  
(ヒーターミラー用)

コネクタ仕様

あり	1500g	ASSY	MIRROR ASSY-BACK, LH	96301 10Z07	2
なし	1450g	ASSY	MIRROR ASSY-BACK, LH	96301 10Z06	1
ヒーター	質量	材料	部 品 名 称	部 品 番 号	NO. 行番
DIFFERENCE	THIRD ANGLE PROJ	FREE	丹内	中沢	駒崎
相 違	三角法	尺 度	製 図	設 計	調 査
			河村		承認

## 注 記

1. 環境試験及び要求仕様は下記の通りとする。

※特記無き場合、P7-ユニット単体とする。

※特記無き場合、日デ実験方法とメ-カ実験方法は、共通とする。

NO.	試験項目	試 験 方 法	判定基準
1	耐腐食性試験	下記順序による複合腐食試験(NES M 0007-1990 33.4.3 CCT-1)を1109/4h行って判定する。(a+b+cの順) 試験環境条件 a 塩水噴射(濃度51%, 温度35℃, 4時間) b 乾燥(温度60℃, 湿度60%以下, 2時間) c 浸漬(温度50℃, 湿度75%以上, 2時間) 注)・各条件設定時間は30分とする。 ・初期及び1109/4h毎に、塩水噴射時に作動耐久方法を59/4h行う。 ・上記合計9時間30分を1109/4hとする。	809/4h終了後、外観腐蝕無きこと。 1109/4h終了後、1.性能・機能要件を満足すること。
2	高温試験	NES M 0007-1990の試験を行って判定する。但し、テストでも可とする。	試験後、1.性能・機能要件を満足すること。
3	熱サイクル試験	NES M 0132-1987の第2法1Bの試験を行って判定する。	試験後、1.性能・機能要件を満足すること。
4	耐腐品性試験	NES M 0133-1988の第3法の試験を行って判定する。但し、テストでも可とする。	試験中及び試験後異常無きこと。
5	耐腐性試験	NES M 0135-1990の第2法17 (BP6313C)の試験を行って判定する。但し、テストでも可とする。	外観はA級とする。物性については確認後決定する。
6	耐カサ試験	JIS D 0135-1987 5.6 促進耐カサ試験を行って判定する。但し、試験時間は72時間とする。	目視による外観異常無きこと。
7	凍結試験	JIS D 0203-1976 B2の試験後5分以内に-30℃雰囲気中に12時間放置する。これを2度繰り返し、-30℃雰囲気中に判定する。	通電後1分間も作動しなくともモータロックによる火災無きこと。また、氷を取り除いた後、初期値15度/secの速度で作動すること。
8	耐水性試験	(1) 高圧洗車機試験 噴水孔における水圧70kg/cm、吐出量(※)1000l/H、水温25±5℃、P7-ユニットと噴水孔との距離1mの条件で、P7-ユニットの正面、上下、左右の5方向から51方向20秒ずつ噴射し、恒溫槽にて80℃で1時間乾燥させた直後に、上記水噴射をもう一度行って判定する。 ※吐出量1000l/Hの設備が無い場合は、吐出量700l/Hの設備にて1方向につき30秒噴射することと代替は可とする。	機能障害(錆による作動不良等)に至ると予測される水侵入無きこと。

NO.	試験項目	試 験 方 法	判定基準
2	複合耐久試験 (96301)	作動耐久方法を自動にて109/4h行った後、電動にて109/4h作動させる。但し、雰囲気温度80℃、常温-30℃の各条件下で行う。	試験後、1.性能・機能要件を満足すること。
3	スリッパ試験	実験電圧24V、常温、常温にて上下左右の各スリッパ位置で30分間のスリッパ状態を続ける。但し、スリッパが動きモータが停止しても良い。	回路や機能の異常・火災・発煙の無きこと。
4	振動耐久試験	(1) 共振点調査 下記方法にて共振点調査を行う。 加速度 : 1G 周波数範囲 : 8~200Hz 加振方向 : 上下、前後、左右 (2) 振動試験 下記条件にて合計144時間行って判定する。(実験順序は任意とするが、それを報告のこと。) 加速度 周波数 加振方向(H) 合計 a 2.46※ 主要共振周波数 12 12 12 36 b 30Hz 36 36 36 108 ※加速度測定位置はユニットとする。	結果を報告する。 焼裂・破損・干渉・脱落・配線・ガタ等の異常無きこと。試験後、1.性能・機能要件を満足すること。
1	作動音試験	下記測定方法にて、出力軸の正・逆転方向の作動音を測定する。(A7-4)但し、P7-ユニット単体とする。 試験電圧: 24V 温 度: 室温	70dB以下のこと。(NDS460dB(A))
2	ツライイ試験	37-7-4-37-7を含み、実際に取り付けて作動させ、ツライイの有無を判定する。(日デにて実施)	ツライイの発生無きこと。

2. ミラーの鏡面サイズは、290×212×R620とする。

3. ピボット保持トルクは、980~1180N・cm (100~120kg・cm) とする。

4. ヒーター性能については、別途調整により決定する。

5. 本製品のASSY重量は1435±%g (ヒーターレス) 1480±%g (ヒーター仕様) とする。

6. ピボット部カバーの抜去力は10±%kgfとする。

940722	CA-7199	N			
承認	DATE 日付	CHG. NO. NOTE. NO. 変更通知番号	SYM 記号	ALTERATION 図面変更記号	承認
DRAWING NAME	図面名称 MIRROR ASSY-BACK, LH				SIZE A2
DRAWING NO.	図面番号 96301 10Z06				CHG. 00
NISSAN DIESEL MOTOR CO., LTD.			日産ディーゼル工業株式会社		図面識別 A590仕様図

(TEC)